

かほく市議会 議会運営委員会 視察報告

【研修日程】

令和7年11月4日（火）～5日（水）

【視察研修先及び内容】

1. 兵庫県加西市 : 市民との意見交換会について
: こども議会について
: 議案に対する意見募集について
2. 兵庫県丹波市 : ミライプロジェクトについて
: 市民参加の促進について

【参加者】

議会運営委員長	杉本	成一
副委員長	竹内	幹雄
委員	杉本	正一
	丸井	一範
	中川	康弘
	池田	義治
議長	金子	猛
随行	西盛	豊樹

市民との意見交換、こども議会、議案に対する意見募集について (兵庫県加西市)

加西市は、兵庫県南部に位置し、播州平野のほぼ中央で、都市部へのアクセスも良好であり、瀬戸内海式気候のため、冬季の降水量が少なく、温暖な気候で雪や台風もほとんどなく、穏やかで暮らしやすいまちであります。人口は約4万1千人、面積は150.22平方キロメートルであります。

市議会の活動での特徴的なものとして3点あり、まず1点目として「市民との意見交換会」が挙げられます。これは4校区ある中学校区の公民館に議員が出向き、市民へ議会報告を行い、また、意見交換会を実施しているものです。テーマは議員協議会で意見を出し合って決定しており、市民生活に影響が大きいものを選定しているとのことでした。近年は新たに若者の参加者が見られるようになり、また、グループワーク方式を取り入れたこ

とで参加者の意見が出やすくなり、建設的な議論が出来るようになったとのことでした。

2点目は「こども議会」です。小学校6年生を対象としたものであり、未来を担う子どもを対象に模擬議会の体験を通じて、市の魅力や問題等に関心を持つとともに、議会や政治への関心を高めることを目的に開催しているもので、普段なかなか入ることのできない議場や議長室を見学できるほか、議会がどういう仕組みかを学習でき、また、市政や議会・議員について日頃、疑問に思っていることなどをこども議員になって市議会議員に質問したり、自分の考えや意見を発表したりできます。なお、個人参加型の形式で開催しているため、学校に依頼するのは募集チラシの配布程度で、大きな負担はかけておらず、また、こども議員になるこどもには市議会から缶バッジを渡して議員を委嘱しているとのことでした。

最後3点目になりますが、「議案に対する意見募集」です。加西市議会が令和7年3月議会より始めたものであり、各定例会の議案の内、市民の関心が高く、市民生活に大きな影響があると思われる条例や事業に対して市民の意見を募集するもので、議論の活性化につなげることが目的であります。集まった意見は議員に配布され、議員は議案の最終判断に活用しているとのことでした。

(兵庫県加西市での行政視察)



ミライプロジェクト、市民参加の促進について (兵庫県丹波市)

丹波市は、兵庫県中央東部に位置し、美しい自然と懐かしい田園が広がる緑豊かな地域の中に様々な地域資源を有したまちであります。瀬戸内海型、内陸式気候に属し、年間の寒暖差、昼夜間の温度差が激しく、秋から冬にかけて発生する丹波地域の山々をつつむ朝霧、夕霧は「丹波霧」と呼ばれ、豊かな自然環境に一層の深みと神秘さを醸し出している、そんなまちでもあります。人口は約 5 万 9 千人、面積は 493.21 平方キロメートルであります。

市議会の活動での特徴的なものとして 2 点あり、まず 1 点目として「ミライプロジェクト」が挙げられます。これは第 19 回マニフェスト大賞の議会改革部門で最優秀賞を受賞した取り組みであり、平成 30 年度から実施されているもので、市内の 4 高校の生徒を集め、福知山公立大学の協力のもと、議員も中に入り、2 か月間にわたって政策提案に向けた準備を行い、取りまとめた政策提案を議場で議員に発表するといったものであります。きっかけはお隣の丹波篠山市の議員と合同の議員研修を開催した際、講師を務めていた福知山公立大学の教授から、「大学生」、「高校生」、「市議会議員」の懇談会開催の提案があったことから検討に入ることになったとのことです。高校生らが政策提案を議場で議員に発表した後、その提案について、それぞれの分野を専門とする委員会では協議し、市議会での取り扱いを決め、市に伝達すべき内容を議長から市長へ提出するといった流れになります。なお、一例ですが、既存の選挙投票所には行きにくい、投票しづらいといった意見が高校生から出され、提案のとおり、市内のショッピングセンターでの期日前投票が可能になったということでありました。また、その年度年度での課題も出てくるので、随時バージョンアップなど、見直しをかけているとのことでした。

最後 2 点目は「市民参加の促進」であります。具体的には出張スタイル、井戸端スタイルで市民との意見交換を行うものであり、市民の声を大切に、市への提案につなげることを目的としたものであります。意見交換会では市政に対するいろいろな意見が寄せられますが、議会ではこれらを分野別に整理のうえ、担当の委員会に分類することになります。この後、各委員会でこれらの意見を「市政に対する特に重要な要望・提案等で、市長に文書で報告を行い、回答を求めるもの」、「市民からのご意見として市長へ伝達するもの」、「委員会として調査を進めるもの」、「内容を確認し、すべての議員で共有するもの」の 4 つに分類し、それぞれ、市長に回答を求めたり、報告したり、委員会で調査を進めたりなどを実行しているとのことでした。最終的に政策立案・提言につながるものもあり、また、出された意見等の結果報告は市ホームページや議会だよりで公表しているとのことでした。

(兵庫県丹波市での行政視察)



以上が2つの市での視察報告となりますが、両市共、市民、とりわけ、今後の市を担う若い世代の声を熱心に聞き、市政に活かそうとする熱い思いがひしひしと伝わってきた研修であり、また、今後の市の発展のため、若い世代の声を聞くことがとても重要であることを再認識させられた有意義な研修でもありました。